

ドイツの戦後経験に学ぶ



穴山 朝子
(2000/01 奨学生)



1 エネルギー革命(2011～)

2022年までに国内原発を全廃

2 EU圏内一の好景気

失業率 (2015)	ドイツ 4.7 %	EU平均 11.4%	日本 3.4%
---------------	--------------	---------------	------------

労働生産性 (GDP/時)	ドイツ 62.2	日本 41.3 (ドル/時)
------------------	-------------	----------------------

3 「インダストリー(Industrie)4.0」

2011～ 産官学の総力結集プロジェクト

1933-45 ナチ・ドイツの犠牲者 （「ホロコースト」）

- * ユダヤ人
- * シンティ / ロマ族
- * 障害者・障害児
- * 被占領地の民間人（東欧、西欧）
- * 同性愛者
- * 政治犯（共産主義者など）

“Vergangenheitsbewältigung”
「過去の克服」

「過去を克服することは誰にも
できない」

ヴァイツゼッカー（1985）

「過去について完全に決着をつける
のは不可能」

メルケル （2015）

戦後処理の基本方針(米英仏ソ)

1. 非ナチ化
2. 民主化
3. 非軍事化
4. 非中央集権化

「過去の克服」の内容

1. ナチス犯罪の追及
2. 賠償・補償金の支払い
3. 教育政策 「記憶の文化」

ドイツの 賠償金	単位ユーロ	(2009 独財務省)
被害者への補償金・年金	1956 ~現在	468億7700万
没収財産の返還	1957 (終了)	37億3700万
対 イスラエル	1952	17億6400万
西側12か国 米国	1953-60	14億6000万
旧西独11州の独自賠償	~現在	16億8200万
特別措置	1980~	38億5100万
記憶・責任・未来財団 (独企業が半額負担)	1999~	43億6250万
その他		51億1200万
計		688億4500万

「過去の克服」の内容

1. ナチス犯罪の追及
2. 賠償・補償金の支払い
3. 教育政策 「記憶の文化」

戦後 ドイツの歴史

1950年代 反ユダヤ事件の多発

1960年代末 学生運動

(反戦、反核、女性運動)

1970年代 「ホロコースト」独で放映

1986 チェルノブイリ事故

1989 ベルリンの壁の崩壊

1990 ドイツ再統一

ドイツの極右、排外運動

- 1 ネオナチ集団（東部で多）
- 2 「ドイツ国民民主党 NPD」（1964～）
現在 州議会で2議席獲得
- 3 「西洋のイスラム化に反対する
欧州愛国者 PEGIDA」（2014～）